



開所日時 月～金曜日 15:00～18:00
土曜日 10:00～13:00
15:00～18:00

児童デイ

宿泊研修を終えて

7月18日(日)から19日(月)にかけて、まごころの広場にて、今年も「ちゃれんじ堂」さん主催の宿泊研修会が開かれました。

児童デイを利用されている方を中心に、両日で述べ38人の障がい児童と、そのご家族が参加され、うどん打ちやモザイクタイル作り、花火に銭湯、スイカ割りといった様々な体験を通じて交流されました。

今年のメインイベントは「うどん打ち」。初めて体験される方が多い中、子ども達と一緒に見よう見まねで作ったうどんはとてもコシがあって美味しくいただくことができ、大成功でした。



初めて参加される方、特に今年はお父さんとごきょうだいの参加が多く、皆さん貴重な交流の機会を楽しんで過ごされていました。今後もこうした機会を通じて交流を深めていただけたらと思います。(11月には金華山登山があります。)

ご協力くださったみなさん、ありがとうございました。



介護接遇マナー研修報告～

先日、お茶の水ケアサービス学院の研修にて『接遇マナー』について学びました。

▼介護・福祉・医療の現場で求められる接遇

介護・福祉・医療もサービスであるという視点が欠けている。「思いやりの心を伝えマナーをしっかり学んで身につける」ことが求められています。

この研修で、コミュニケーション技術・接遇の基礎知識・対応技術等を学びました。

▼あいさつはコミュニケーションの始まり

- ・あいさつの言葉は省略しない、相手を見ている
- 「どうもありがとうございます」
- 「おはようございます」「お先に失礼します」

▼身だしなみの目的

- ・おしゃれと身だしなみは違う
- ・身だしなみは相手に不快感や違和感を与えない

▼コミュニケーション技法

- ・身ぶり言語(非言語コミュニケーション)が効果的
- 視線・姿勢・表情。目・声量・声の調子など

▼現場で役立つ「してくださる」

- ・相手への気づかいや感謝の気持ちが込められる

▼電話の受け方

- ・3コール以上鳴って対応するときは「お待たせ致しました・・・」と言う

特に電話での対応の仕方はとても参考になり、当事業所においても誰が電話に出ても同じように対応できるようマニュアルとして身につける必要を感じました。



ミニデイだより

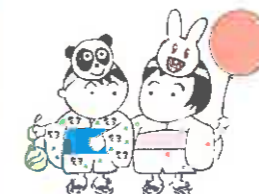


七夕祭り飾り付けコンクール

7月22日から25日にかけて、第55回一宮七夕まつりが催されました。市民が参加できる飾り付けコンクールがあることを知り、まごころも参加することになりました。ミニデイの方が中心となり、多くのアイディアを出し合いながら飾り付けを作っているときは、みなさんととても真剣な眼差し。集中し過ぎて、肩や手が痛いとおっしゃられる方もみえる程でした。(そんなときはいつも水前寺清子さんの「365歩のマーチ」に合わせてまごころ体操を行い、体をほぐしています。)そしてとてもかわいくす玉・吹流し・笹飾りが完成しました。結果は“おとめ座賞”!! 立派な賞状を頂き、「来年は何を作ろうか? 上を目指そう!」と皆さんとても意気込んでみえました。



毎日暑い日々が続く、熱中症のニュースが連日報道されています。今まであまり耳にしなかった、室内での熱中症になるという事例があるため、ミニデイを行う際に室内の温度にも気を使いながら行っていきたいと思えます。



心っれづれ



合掌

今年は気候が不順で、農作物の生育が悪いとあちこちで耳にします。日頃、日光や水、気温などに当り前のように過ごしていますが、改めて考えてみますと、もし日光不足が続いたり、雨が降らなかつたりした時、私達はどのように生活ができるのか・・・困りますよね、きっと・・・

こうして考えてみますと、お日様の光に浴し、水をふんだんに使わせていただき、時節に合った気候にありがたいなと感謝の気持ちが湧いてきます。

我が家では精神障害のある娘と二人の生活ですが、仏様を信じ、仏様の言われる事を実行することによってお互いに「ありがとう」「ごめんね」と言い合い穏やかな明るい毎日を過ごしています。でも時々、自分の我がが出て言い合いになったりもします。

合掌をする時、右手は仏様(または相手の方)で、その右手に、左手(自分)を合わせていくと教えて下さいます。どうしても自分が先に出てしまいますが、たまに電車やバスの中で席を譲ったり、譲っていただいたりした時、又困っている時に言葉をかけたり、かけていただいた時ってほんのりとうれしくなりませんか?

ある方が言われました。障害はみんながもっている・・・と。私と娘は「まごころ」で大変お世話になっていますが、娘は障害があっても五体は満足、私は足腰が悪く杖をつけていますが二人ともほんの少しでも人さまの役に立てたらと願っています。

戸田美代子

珍問答 娘と二人大笑い

(俳句のつもり)